

あなたも ツバメ子育て応援団

子育て見守りハンドブック



B 日本野鳥の会
JPN BIRD Society of Japan

ツバメ子育て応援団

あわら市エコ市民会議

もう「ツバメ」が南の国からやってきています。若葉が出るころ、田植えが始まり、田んぼにはたくさんの「虫」が出てきます。それを「ヒナ」のエサにして子育てをしに日本にやってきます。

エサはあるのですが、お家がありません。ツバメは昔々から、人家に巣をつくることで、天敵のカラスやヘビなどから命を「守って」きました。「共生」していたのですね。

- ・カラスがヒナを狙っています。
- ・フンが「汚い」といって「巣」を落とす人もいます。

方法はいろいろあります。応援よろしくお願ひします！

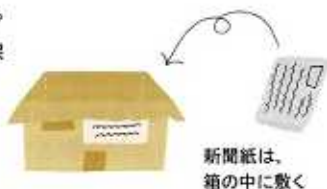
検索

フン受けの作り方

ツバメの巣を人が落とすのは、「フンが汚い」のが主な理由です。店舗や車庫など、フンが落ちると困る場所もあるでしょう。しかしフンが落ちるのは、子育て期間中の2週間程度です。フンを防ぎたい場合は、フン受けを設置してあげてください。

落ちてくるフンを手軽に処理するためのアイデア

- ① 地面に段ボール箱を置いておき、新聞紙を中敷きにする。時々取り替えれば、清潔が保てる。



新聞紙は、箱の中に敷く

- ② 巣の直下にフン受けを設置する場合も、段ボールなどを粘着テープで固定する。大きくて頑丈なものにすると、天敵のカラスが足場として利用してしまう。フン受けは、巣から50cm以上離すとよい。



巣からは50cm以上離す

〈使うもの〉

- ◎ 浅めのダンボール
- ◎ 強力な粘着力のあるテープ



駅の改札口にある巣につけられたフン受け



フン受けとカラス除けの棒が設置されている例。このカラス除けの棒は、繁殖シーズンだけ取り付けられるように工夫されている



使わなくなった傘を利用して作ったフン受け。傘の柄を引っ掛けられるようなところがあれば、この方法も有効だ

設置のタイミング

親鳥の警戒心が強い巣作り中はやめましょう。フン受けはヒナが孵化してから置るか、巣台を設置するときにあわせて作りましょう。

カラス除け

営巢中に最も多い相談が、「ヒナ(卵・親鳥)がカラスに襲われたけれど、どうすればいいか?」というものです。カラスはツバメの天敵であり、襲われるのは自然の摂理です。しかし、近年の住宅の構造上、襲われやすい所にしか巣がかけられないケースが増えています。

カラスは巣立ち前のヒナをねらうことが多く、襲うときには地面から飛びあがって巣を足で蹴り落とし、落ちた巣からヒナを持ち去ります。

これを防ぐためには、巣の下に親鳥が通過できる程度の隙間を空けてヒモを張ったり、場合によってはネットを張るなどすると、カラス除けとして効果があります。



カラスに壊された巣



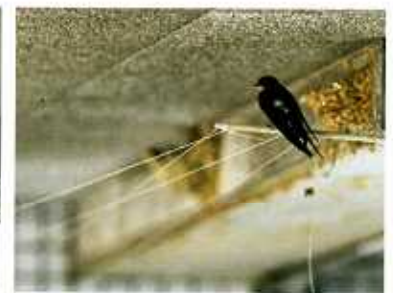
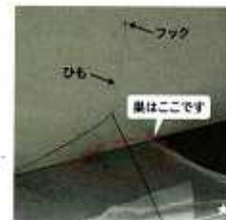
カラスは下から巣を蹴り落とすため、カラスが下から狙えないように、巣の下に障害となる仕組みを作る

カラスも野鳥も一員だけど・・・

カラスも同じ野鳥の一員で、この時期、ツバメ同様に子育てをしています。自然の摂理に任せるのであれば、なぜツバメをカラスから守るのか、という意見もあります。

しかし、カラスによる被害が増えた背景には、人間が出したゴミなどでカラスの数が増加したことや、昔は土間の奥や玄関の中で子育てができたのに、いまではカラスにねらわれやすい場所に巣を作らざるを得なくなってしまったツバメの子育て環境の変化が考えられます。

そのため当会では、人家に巣をかけるツバメたちを天敵から守るため、家主がカラス除けの工夫をすることについて肯定的に捉えています。



巣の下に、ネットや糸などの障害物を張るのも有効。体の大きなカラスが侵入できず、ツバメは出入りできる程度のスペースを空ける

設置のタイミング

巣作り中はやめましょう。抱卵が始まったら、設置します。ヒナが生まれてからの場合は、成長して羽ばたきの練習を始めるころになると、おどろいて飛び出してしまうことがあるので注意してください。

巣作りの手助け

ツバメは、泥に藁や枯れ草を混ぜて巣を作りますが、田んぼがない都市部では材料が少なく、じょうぶな巣を作ることが難しく、せっかく作っても壊れたり、崩れたりしてしまうことがあります。崩れそうときは簡単な巣台を用意するなどして補強するとよいでしょう。

巣台の設置

現代では、巣を作れる場所はかなり限られ、ツバメにとって住宅難の状況です。巣台を設置して少しでも多くのつがいの子育てできる環境を提供してみませんか。過去に近くで巣作りしていた場所であれば、来てくれる可能性は高いでしょう。ただし、巣台を設置する場合には、天敵となるカラス対策も考慮してください。



写真はカップ類の容器で補強した例。巣の縁が容器から少し出るように深さを調節してある



雑貨店の店内に設けられた巣台



奥行(写真内の②)5cm、横幅10cm(かまぼこの板程度)の板で作った巣台。あまり広すぎると、カラスに襲われやすくなるので注意する。天井からの距離は(写真内の③)20cm以内にする。コンクリートなど、釘を打てないような壁の場合、発泡スチロールで足場を作り、強力な粘着剤のあるテープでとめる。フン受けの作り方は、16ページ



ヒナが落ちている

巣からヒナが落ちていることがあります。その時には巣に戻してあげてもいいでしょう(蹴っただけではなく、ヒナとヒナのあいだに押し込むようにするとよい)。

しかし、いつも同じヒナが地面に落ちている場合は、かわいそうですがそのままにしておくしかありません。

親鳥は丈夫でない子を切り捨て、他の子を優先的に育てることがあります。自然界では、すべてのヒナが巣立ってことはめったにありません。これも自然の厳しい現実なのです。

設置のタイミング

ツバメが戻ってくる前に取り付けましょう。ツバメは雨の当たらない軒やひさしの下、車庫の天井などを好みます。

(公財)日本野鳥の会

あなたもツバメ子育て応援団

子育て見守りレドブックより転載